

情報処理科 公開授業 学習指導案  
教諭・山富竜二

指導日時・教室 令和5年11月15日(水) 5限目 教室名マルチメディア室  
対象生徒・集団 情報処理科3年生 18人  
科目名 ビジネス情報管理(2単位)  
使用教科書 ビジネス情報管理(実教出版)

1 単元名 第4章 情報システムの課題と展望

2 本時の指導と評価の計画(第1時)

(1) 本時のねらい

- ① 大規模災害発生時におけるスマートフォン使用等の注意点
- ② 安否確認の方法についてはデジタル・アナログ両方準備
- ③ 信頼できる情報の収集と情報発信・拡散の注意点

(2) 資料等 【web資料】 「SO-NET 防災マニュアル」

「いざという時のインターネットの使い方！」

[https://www.so-net.ne.jp/access/special/sony\\_so-net/measures\\_manual](https://www.so-net.ne.jp/access/special/sony_so-net/measures_manual).

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 5分	大規模災害発生後の行動を考える。	大規模災害に直面した時、どのような行動をとるか協議する。	一時的にスマートフォン等の利用率が高くなることに気付かせる。	(態)自らの考えを発言しているか、他の考えを解釈し建設的に意見を交換しているか。
展開01 10分	全国のアンケート調査結果と自らの行動を比較する。	災害に対する不安、事前対策について協議する。	災害は、発生する前提で、事前対策をしておくことが大事であることを気付かせる。	(知思態)アンケート結果を正しく解釈しているか、他の意見も含め、建設的に意見を交換しているか。
展開02 5分	0000JAPAN、公衆無線LANについて知る。	インターネットが繋がりにくくなる原因と対策を協議する。	通信会社等も対策しているが、一人ひとりが緊急以外の書き込み等を行わないことが重要であることを気付かせる。	(知思態)通信障害の対策を理解し、他の意見も含め、建設的に意見を交換しているか。
展開03 5分	災害用音声お届けサービス、災害用伝言サービス「171」、アナログ手段の活用を知る。	通話規制等がある場合の安否確認について、協議する。	安否確認のため、各種「伝言サービス」があることを教える。また、ID、パスワード、電話番号等、アナログでの管理についても考えさせる。	(知思態)安否確認の方法を理解し、他の意見も含め、建設的に意見を交換しているか。
展開04 5分	フェイクニュース、災害用アプリについて知る。	災害時の情報収集の方法を学び、信頼性の低い情報、高い情報を得る手段について、協議する。	SNSだけではなく、ラジオやテレビ、ラジスマ(ラジオ付きのスマホ)、公的機関が提供している災害用アプリ等の情報収集手段にも気付かせる。	(知思態)信頼できる情報収集の方法を理解し、他の意見も含め、建設的に意見を交換しているか。
展開05 5分	ハッシュタグと情報拡散について考える。	SNSのプラス面、マイナス面を考え、協議する。	SNSはリアルタイムに情報が更新されるメリットはあるが、拡散により、重要な情報が埋もれてしまうことにも気付かせる。	(知思態)情報発信、プラス面、マイナス面を理解し、他の意見も含め、建設的に意見を交換しているか。
展開06 10分	各生徒が調べた「防災とコンピュータ」の関わりについて、共有する。	自分が調べた「防災とコンピュータ」の関わりについて発表し、他の生徒の発表を聞く。	数人の生徒に「防災とコンピュータ」の関わりについて発表してもらい、情報を共有する。	(知思態)他の生徒の発表を理解しようとしているか。
まとめ 5分	本時の学習を振り返る。	Formに本時の感想等を入力する。	本時のポイントについてFormを使って振り返る。	(知思態)Formの入力内容。